

# えぐね

「えぐね」は、日本三大散居村の地、胆沢扇状地の屋敷の北西側に木を森のように植えて、冬の季節風から屋敷を守る防風林です。快適な住環境を形づくり、日本の原風景を代表する景観を生み出しています。本校が胆沢の地や人々にとってなくてはならない「えぐね」のような存在であり続けたいと願い、校報の名前にしています。〈学校HP <https://isawachu.edumap.jp>〉

## 2 学年職業講話



職業についてのお話を聞くことで働くことの意義や職業に対する意識を高めることを目的に開催しました。6会場で実施し、生徒はそれぞれ2会場での講話を聞く形としました。今回の講師は、北上川流域ものづくりネットワーク（県南広域振興局）様を通じて依頼し、株式会社キンレイ 様、株式会社プラザ企画（プラザイン水沢）様、水沢信用金庫 様、なめしだファーム 様、東京自動車株式会社 様、特別養

護老人ホーム むくもりの家 様においでいただいたものです。

自分の将来の生き方について、進路について具体的なお話をもとに理解を深める機会となりました。働くことの大切さや思いについては、折に触れてご家庭でも話題にさせていただければと思います。

## 英語検定

今回、実用技能英語検定試験を2年生の公費受験（奥州市の補助金によるもの）として実施しました。英検は計画に従い、学校会場としても実施しています。自分の英語の力をはかる機会ですし、取得した級は資格として一般に広く認められている検定です。計画的に利用し、英語力の向上にもつなげてほしいと思います。

## 入学試験

私立高校の入試が始まっています。入試については1・2年生のみなさんも勉強したことがあると思います。普通科・専門学科・総合学科、公立・私立、全日制・定時制・通信制、一般・

推薦・専願などの言葉を説明することはできるようになっていますか。ほとんどの生徒は進学を志望します。進路選択する時に必要となる知識は、確実に身に付けてほしいと思います。

## 県アンサンブルコンテスト

1月13日、奥州市文化会館大ホールを会場に開催されました。どのグループも練習の成果を発揮する準備を整えて当日を迎えました。審査の結果、打楽器三重奏 銀賞、フルート三重奏 銀賞、木管八重奏 銅賞を受賞しました。

各グループの様子に、2年生のリーダーシップが感じられました。経験を元に、さらに良い演奏ができるようになることを願っています。

## 勉強はローリスク

これは『かがみの孤城』（ポプラ社 辻村深月著）に出てくる表現です。勉強に自信のない登場人物（中学生）に対して、フリースクールの先生が、一緒に勉強しよう、と伝える時に使った言葉です。勉強には大きな犠牲を払う必要はない、勉強で得た力はどこでも使えるので無駄にならない、勉強したことに後悔を感じることはない、という意味でローリスクだということかと思えます。逆に、勉強を避けることは、ハイリスクになると言えそうです。そういう風に学習を捉えてみてはどうでしょうか。

## 読破目標 20 冊

学校図書館を利用するめどとして、1年間に20冊以上を目標に設定しています。現時点で目標を達成している生徒の割合は64%です。3月までまだ時間があります。今後の期間に達成者が増えていくものと思います。

<読書の効能例>

- 1 会話力や文章力が向上する
- 2 語彙が増える
- 3 教養や知識が身につく
- 4 想像力が豊かになる
- 5 アイディアが手に入る
- 6 話題が増える
- 7 ストレス解消になる

## こども調査⑤ 「家族・親族」

家族・親戚とあなた（10～14歳）とのかかわりは、どのようなものですか

なんでも悩みを相談できる人がいる	52.6%
困った時は助けてくれる	70.5%
他に言えない本音を話せることがある	43.9%

困った時に助けてくれると感じている割合に比べると、他の質問への積極肯定が低いのが印象的です。家族には話せないと感じる事柄が増えてくる時期を示しているようにも見えます。悩みの内容や思いの程度によりますが、家族以外に話をしたり、相談したりできる存在や場所（公的な相談電話や窓口、メール）を知っている、あるいは探すことができる中学生であってほしいと思います。